

10 特別の教科 道徳

(1) 第1学年

① 日常の学習状況と課題

ア 学習面

- ・取り上げる題材によって、生徒が意欲的に取り組むかどうかの差がある。身近な話題や、興味をひく話題の場合は、多くの生徒が意欲的に取り組んでいる。
- ・読み物資料の内容を理解する力を身に付ける必要がある。
- ・題材を自分のこととして捉え、自分の考えを書くことができる生徒が多い。

イ 指導面

- ・年間指導計画に基づいた読み物資料による授業が中心である。
- ・指導書の記述を参考に、生徒の実態にあった発問を工夫している。

② 授業改善案

ア 学習面

- ・どの生徒も意欲的に資料を読み、先生や友達の話聞きながら、自分なりの考えをもつことができるようにする。
- ・友達と意見を交換しながら、自分の考えを深めていく場面を増やす。

イ 指導面

- ・生徒の実態に合わせた題材を取り上げられるように、資料を吟味・選択する。
- ・導入を工夫する等、生徒が意欲的に取り組むことができるようにする。
- ・読み物教材の内容を理解することに終始してしまわないよう、学習者用端末の活用・掲示物を作成する等の工夫をする。
- ・話し合い等の意見交換を通して考えたり悩んだりする、生徒の葛藤を大切にする。

(2) 第2学年

① 日常の学習状況と課題

ア 学習面

- ・ 取り上げる題材が、身近な話題や興味のある話題の場合は、多く生徒が意欲的に取り組んでいる。
- ・ 多くの生徒は、ねらいに照らし合わせて自己を振り返ることができている。
- ・ 質的・量的にしっかりと自分の考えを書くことができている生徒がいる一方で、理解する力を身に付ける必要がある生徒もいる。

イ 指導面

- ・ 年間指導計画に基づいた読み物資料による授業が中心である。
- ・ 指導書の記述を参考に、生徒の実態にあった発問を工夫している。
- ・ できるだけ多くの生徒が発言できるように、指名している。

② 授業改善案

ア 学習面

- ・ どの生徒も教材を読み、話を聞き、自分の考えをまとめて、進んで発表できるようにする。
- ・ 多様な考えを出し合い、自分の考えを振り返ることのよさに気付く。

イ 指導面

- ・ 生徒の実態から題材を設定し、発問や助言を工夫する。
- ・ 外部講師を招聘する等、指導方法や指導内容を工夫する。
- ・ 生徒が主体的に学習に取り組むことができるように、グループでの意見交換や学習者用端末を活用することを取り入れる等、50分間の学習活動を工夫し、実践する。
- ・ 必要に応じて、個別の指導や声掛けを行う。

(3) 第3学年

① 日常の学習状況と課題

ア 学習面

- ・取り上げる題材が、身近な話題や興味のある話題の場合は、多く生徒が意欲的に取り組んでいる。
- ・多くの生徒は、ねらいに照らし合わせて自己を振り返ることができている。
- ・多くの生徒が、質的・量的にしっかりと自分の考えを書くことができている。

イ 指導面

- ・年間指導計画に基づいた読み物資料による授業が中心である。
- ・指導書の記述を参考に、生徒の実態にあった発問を工夫している。
- ・できるだけ多くの生徒が発言できるように、指名している。

② 授業改善案

ア 学習面

- ・自己を振り返り、それと題材を重ね合わせて考えることで、身近なものとして捉えるようにする。
- ・友達の考えを聞き、自分の考えを見直すことを通して、道徳的判断力を高めるようにする。

イ 指導面

- ・生徒の実態から題材を設定し、発問や助言を工夫する。
- ・外部講師を招聘する等、指導方法や指導内容を工夫する。
- ・生徒が主体的に学習に取り組むことができるように、グループでの意見交換を取り入れる等50分間の学習活動を工夫し、実践する。
- ・必要に応じて、個別の指導や声かけを行う。

(4) 本校の「特別の教科 道徳」における課題

- ・読み物教材による授業が中心で、「道徳の時間」＝「物語を読む時間」という意識をもつ力を身に付ける必要がある。生徒の興味・関心を持続することができるように、教材や授業の展開を工夫する。

(5) 本校の「特別の教科 道徳」における改善

- ① 35時間の年間指導計画と生徒の実態に合わせた資料を活用しながら、自己を振り返る場面を取り入れて、授業を組み立てる。
- ② 生徒の興味・関心を高めるため、読み物教材だけでなく、学習者用端末を活用・視聴覚教材や実体験に基づく話、外部講師の招聘等、教材に工夫を凝らす。